

上海体育学院との学術交流プログラム参加報告 Academic exchange at Shanghai University of Sports

三上恵里

Eri Mikami

早稲田大学大学院スポーツ科学研究科

Graduate School of Sport Sciences, Waseda University

スポーツ科学研究, 7, 123-124, 2010年, 受付日:2010年12月25日, 受理日:2010年12月25日

2010年11月5日(金)から2010年11月8日(月)までの4日間、上海体育学院との学術交流プログラムに派遣学生の一人として参加した。今回のプログラムの内容は、上海体育学院で開催される4th Shanghai International Forum on Exercise and Healthに参加し、Sino-Japan Postgraduates Forumにおいて自身の研究成果について英語で口頭発表を行うというものであった。

11月5日、昼過ぎに上海空港に到着した私たちは、迎えに来てくださった上海体育学院の学生さん達に導かれるまま送迎バスに乗り込み、早速大学へと向かった。上海体育学院と書かれた門をくぐると、最初に目に飛び込んできたのは立派なサッカーグラウンドやテニスコートで、中央にはとても立派な、大学の施設とは思えない建造物がそびえ立っていた。後から聞いたところによると元々上海市の市政府の建物で、現在は大学が行政ビルとして利用している建物だそうである。バスから降りると、出迎えてくれたのは上海体育学院の大学院生4名で、彼女達の案内で1日目のプログラムである施設見学が行われた。

まずは自己紹介からということで英語での自己紹介を準備していると、実は彼女たちは日本に留学経験があるという学生さんや、日本語を勉強中の学生さん達で、とても流暢に日本語で自己紹介をしてくださった。施設見学では、大学構内にある武術博物館や運動科学分野の研究棟を案内していただいた。特にバイオメカニクスの分野の実験設備を見学することがで

きた(写真1)。また、陸上競技を行っていた私にとってはとてもうらやましい立派な屋内陸上競技場も存在し、競技を行うにも研究を行うにも恵まれた環境だと感じた。

2日目は4th Shanghai International Forum on Exercise and Healthに参加しKeynote Speechを聴講した。この日は朝8:30からOpening Ceremonyが始まり、そのままKeynote Speechかと思っているとその合間に記念撮影があり、それも会場内ではなく、大学構内でひととき目立っていた市政府の建物の前に記念撮影用のひな壇が用意され、全員がそこへ移動して記念撮影を行うというものであった。日本の学会でそのような経験をしたことはなかったので驚き、中国と日本の文化の違いを改めて感じる事ができた。Keynote Speechでは、合わせて11名の先生方が講演された。International Forumであるにも関わらず、中にはスライドも発表も中国語のみでの講演があったことには多少疑問を感じたが、講演の内容は多岐にわたり興味深いものであった。

3日目は、今回の学術交流プログラム最大のイベントであるSino-Japan Postgraduates Forumが行われた。早稲田大学からの私を含めた5名と、上海体育学院からの5名で計10名がそれぞれの研究成果を英語にて口頭発表した(写真2)。会場は前日にKeynote Speechが行われたメイン会場で、上海体育学院の学生と思われる多くの方々が聴きに来ており、会場はにぎわっていた。私は日本人のトップバッターで緊張していたが、ステージに上る

と練習通りにやるしかないと思いきや、10 分間ひたすら話し続けた。問題は質疑応答で、質問されるだろうと予想し準備していたことは大きく外れ、予想外の質問に少し戸惑ってしまった。私は今年度、GCOE プログラムのおかげで、海外で発表させていただくチャンスを多くいただいたにもかかわらず、適切な質疑応答をできなかったことが情けなく、非常に悔しく感じた。他の発表者は緊張しながらもしっかりと発表・質疑応答を行っており、Sino-Japan Postgraduates Forum 全体としてはとても充実したものとなった。私自身の発表は満足いくものではなかったが、国際学会での発表に関して、“質疑応答”という今後克服すべき課題がはっきりとし、また、同じ分野の先生から研究に対するアドバイスをいただくこともでき、とても貴重な体験となった。発表も終わり緊張がほぐれ

たランチの時間には、私たちのお世話をしてくれた大学院生の一人が、最後にプレゼントと言ってとても美男美女に描かれた全員の似顔絵をプレゼントしてくれた(写真 3, 4)。

たった 3 日という短い期間ではあったが、研究者を志す同世代の大学院生と交流し、多くの刺激を得られたことも私にとってとても貴重な体験であった。

最後になりましたが、貴重なチャンスを与えてくださった早稲田大学グローバル COE プログラム、今回の学術交流プログラムのコーディネーターの研究院助教の曹振波先生を始め、今回の学術交流プログラム実施にご尽力下さった研究院助教の先生方、早稲田大学スポーツ科学学術院の先生方、そして上海体育学院の先生方、お世話になった大学院生の皆様に心から感謝致します。



写真 1 上海体育学院施設見学の様子



写真 2 Sino-Japan Postgraduates Forum



写真 3 似顔絵をプレゼントしてくれたリュウさん



写真 4 いただいた似顔絵